

位置

り南を江南と申ける、

〔江濃記〕淺井出身事

淺井休外齋入道橘高政は、朝倉教景の吹舉により、京極殿の一跡を給りけれども、國人おほく背ければ伊勢の國司并長野若狹守、關刑部大輔美濃土岐殿并齋藤其外朝倉より加勢を請ひ、北近江五郡をやうく治めける、

〔近江國輿地志略建二置沿革〕

大凡此國の野軫にあたり、北極地をいづること三十五度半、日本の里數にてかんがふれば北極のある所へは千二百八十八里四分一あるなり、四時の氣候中正の國なり、分野のこと、秦漢よりもつはらこれをいへども、故賢の端辨ありて、採もちいがたきことあり、當國軫宿にあたれるといふの義、私説にあらず、保井春海、日本の分野の圖を著し、近江をもつて軫にあてたり、今これにえたがふのみ、

〔地勢提要乾〕各國經緯度附里程

近江彦根傳馬 極高三十五度一十六分、經度東三十一分、從東都中山 一百二十里一十五丁五十二間半、

〔日本經緯度實測〕北極出地

近江 大津 三五度〇〇分三〇秒

長濱 三五度二三分〇〇秒

彦根 三五度一六分〇〇秒

大溝 三五度一八分〇〇秒

堅田 三五度〇七分〇〇秒

草津宿 三五度〇一分〇〇秒

石部宿 三五度〇一分〇〇秒

膳所 三度〇〇分〇〇秒略中

東西里差

山城 京 〇度〇〇分〇〇秒略中